

7月12日(火)

尽きることのない神様の寛容

聖書朗読 創世記 26:26~33

持ち物を売って、施しを下さい。自分のために、古くならない財布を作り、朽ちることのない宝を天に積み上げなさい。
ルカ 12:33

イサクと彼の隣人たちとの関係は明らかに良好なものではありませんでした。貴重な産物である水のことと争っていたようです。カリフォルニア州の人々にはわかりがあることなのかもしれませんし、実際には、私たち全てにかかわりのあることなのでしょう。私たち人類はまさにそのことと争っています。一般的に、将来、供給が途絶えるかもしれないという恐れがゆえに私たちは何かしらのものを求め、それが争いの種になります。私たちは、他者がそれなしに生きることになったとしても、それを求めます。そして他者は腹を立てるのです。

しかし、神様は私たちに対して寛容であります。イサクが、神様がイサクのために準備して下さった利他的な制限のない備えを思うとき、イサクの人生のうち、水に渴く隣人に対する慈悲と和解の心をもたらしたのです。神様のご寛容という真実のご配慮は、私たちに全ての隣人との調和を求めることを、求められます。

なにものをも、神様が、私たち全てにご寛容であられることから離れさせることはできません。そして、なにものをも、私たちが互いに寛容であることから離れさせることはできないのです。

大いなるは主のまことぞ、朝に夕にたえせず、みめぐみもてささえたまう。
たたえまつらん、わが主を。

———— トーマス・O・チザム

讃美歌 第二編 191

祈り 主なる神様。私に対する尽きぬことのないあなたのご寛容のうえに、私が心にある幻に集中することができますように。その幻と共にあって、どのようなことがあっても、私が全ての隣人との平和を心に描き求めることができますようにお導き下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

マイク・サンダース
アイダホ州 ボイシ

7月13日(水)

ま や か し

聖書朗読 出エジプト 4:29~31:7:10~11

あなたは奇しいわざを行われる神、国々の民の中に御力を現される方です。
詩編 77:14

私たちは、驚きに対して、年々、要求が高まる文化の中に生きています。去年の贅沢には飽きてしまい、去年の特殊効果には驚かなくなり、素晴らしいと思ったことは、「90年代なんて」と馬鹿にしていることに気づきます。私たちは、誰かしらに対して、驚かせてみると挑んでいます。

時には、信じる私たちでさえ、パロのように、それは既に見たことだと無感覚になることがあります。私たちは、神様の御力を待ち望むことを知っていますが、私たちが既に安全である時に、なぜ神様を困らせるのでしょうか？ 私たちは神様の癒しを待ち望むことを知っていますが、私たちの目の前に既に癒しがある時に、なぜそれを待っているのでしょうか？ 私たちは神様にある平和を待ち望むことを知っていますが、私たちが既にとても快適である時に、なぜ求めるのでしょうか？ 神様のご臨在を求める私たちの長い嘆きに応えられる神様を伏して礼拝することよりも、私たちは、神様に自分たち自身のどんなことをお願いしようかと悩んでいます。

今日、私たちは、私たちが必要な全てである変わらぬ神様であって、驚嘆することができますように、私たちと共にある救い主からそらそうとする利便性やパロの魔術師のまやかしの喧騒の満足を追い求めるよりも、神様によりたのむことを覚えることができますようにお祈り申し上げます。

讃美歌 516

祈り 全てである主なる神様。私たちの周囲にあるあなたの奇きわざに私たちの目を開かせて下さい。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

デヴィッド・レムリー
カリフォルニア州 マリブ

7月14日(木)

重荷を捨てなさい

聖書朗読 ヨシュア 7：1～5

私たちも、いっさいの重荷とまわりつく罪を捨てて、私たちの前に置かれている競争を忍耐をもって走り続けようではありませんか。ヘブル 12：1

アレキサンダー大王は苛立っていました。ペルシャへの進軍に際して、自軍の行軍が日々遅くなっているようでした。速度は戦の神髄であるにもかかわらず、彼の軍隊の行進はまるで蛇のあゆみのごとくでした。アレキサンダーは、とうとう問題を理解しました。彼らは、戦士というよりも商人らしい一団との前回の戦闘で勝ち得た略奪品を携えていたのです。アレキサンダーは、荷物を軽くするように兵士たちに命令しました。彼の軍隊は再び速度を速めて行軍することができました。

イスラエルの民がエリコの町を占領した時に、神様は、彼らから何も奪ってはならないと厳しく命令しました。にもかかわらず、アカンが、誘惑に駆られたのです。彼の弱さはイスラエルの徹底的な敗北に繋がったのです。

あなたはどんな重荷を捨てますか？ 秘密にしている罪ですか、長年に渡るねたみですか、不信心な行いですか？ この世には、私たちがあるべき姿から遠ざけるものが数多くあふれています。アカンのように、私たちはより良きものを知っていますが、それでもこういったものにしがみつきます。

そういったものを下ろしましょう。そういったものを捨てましょう。あなたがその道を走るように神様に創られたその道を走りましょう。

讃美歌 352

祈り 父なる神様。あなたに唯一あなただけにすがることが出来ますようにお導き下さい。地上の富と自尊の富を捨て去り、重荷を軽くし、歩みの速度を速めることができますように。イエス様がその道を走りぬかれたように私たちも走ることができますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ティモシー・アーチャー
テキサス州 アビリン

7月15日(金)

神様からのそして神様のための祝福

聖書朗読 Iサムエル 1：1～11

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子信じる信仰によって生きているのです。ガラテヤ 2：20

かつては、実現したらよいのにと真剣に願っていたことが、実現しそうにないと思わせることがありますか？ あなたは、しばらくの間は神様に祈り求めたかもしれませんが、神様はその祈りを聞いて下さらないと思ったのかもしれませんが、もしくは、求めていたことが実現しないことに心を悩ませていたがゆえに、そもそも、祈ることさえできなかったのかもしれませんが。

人生は本当に良きものとなります。しかし、たったひとつの「心配事」(家族関係、仕事、心の底にある決して実現しそうにない願い、など)が私たちに悲しませます。ハンナにとっては、それはどのようなものであったのでしょうか？ ハンナには、彼女のことを愛する夫がいました。しかし、子どもが授からないことで、ハンナは深い悲しみのうちにあり、傷ついていました。ハンナは主に男の子を授かることを祈り求めました。「私を心に留め、私に男の子を授けてくださいますなら、私はその子の一生を主にささげします。」(Iサムエル1：11)。神様は、ハンナを祝福し、男の子をお与えになられ、そしてさらに4人の子どもをお与えになったのです。

神様は、大きなこと、小さなこと、そして、全てのことに配慮して下さいます。神様は、神様の御心に適う恵みを授けて下さいます。私たちは主にある恵みを祈り求め、祝福されているがゆえに、神様のご栄光のために喜んで主に恵みをお返ししようとするのではないのでしょうか？ 私たちは、主によりたのみ、主にお返しすることによって、時に、私たちの想像をはるかに超えた方法で、主の恵みに授かることができるのです。

讃美歌 第二編 37

祈り 父なる神様。私たちが、おのおのの人生よりも、かしらなる主にあるより善き人生を求めることができますようにお導き下さい。私たちは主を愛します。願わくは、あなたの御心、あなたの恵みのご意志に従うことができますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ランドン・アンダーソン
ミズーリ州 カークスビル

7月16日(土)

家族を超えた信仰

聖書朗読 Iサムエル 20:12~23

わたしよりも父や母を愛する者は、わたしにふさわしい者ではありません。

マタイ 10:37

『あなたの父上はわたしのいのちを求めておられます。』(Iサムエル20:1)。ダビデから、彼の父親がもはや神様に従っていないことを告げられたときのヨナタンの思いが想像できますか？ 衝撃、拒絶、しかし、おそらくそれよりも、ダビデの言っていることが正しいのかもしれないとの覚り。

ヨナタンとダビデは、神様にある信仰に基づいた友人関係を育んでいました。彼らは兄弟のように仲の良い親友でした。霊的な家族であったのです。

今日、あなたの信仰の共同体においても、周囲にヨナタンのような方々がいると思います。夫がなくなるとも、子どもたちを連れて教会にくる妻たち。両親がなくなるとも、信仰にあふれ礼拝に出席する10代の若者たち。家族の理解が得られなくとも、改宗した人々。

彼らには信仰の家族であるあなたが必要なのです。彼らには苦しいことを共に分かち合える家族関係が必要なのです。彼らは、お互いを見て、お互いに配慮し、人生を共有する家族の一員として迎え入れられるべきなのです。ダビデとヨナタンのように。

讃美歌 121

祈り 愛する神様。どんなときもあなたを選ぶことができますようにお導き下さい。どうか、私たちがあなたにあってお互いに家族となれますように。完全なる御父であられることに、私たちが子どもとして下さいますことに感謝申し上げます。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

スティーブ・リジェル

テキサス州 アビリン

7月17日(日)

主にある建物

聖書朗読 I列王記 3:1~9

しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。 ヨハネ 1:12

最近、私の教会の集会に、別の州から来た訪問者が参加しました。私は彼を、教会の兄弟姉妹に紹介しました。スペイン語、中国語や韓国語を話す兄弟姉妹にも、英語を話す兄弟姉妹と同じように、黒人も白人もアジア人の兄弟姉妹にも同じように紹介しました。そして「これがロサンゼルスですよ」と彼に話しました。

神様は、ロサンゼルスに教会を建てられています。教会は、町そのものを反映します。私の教会は多様性に富んでいます。神様は、神様の名を信じる全ての人々に神様の子どもとなる特権を分け隔てなくお与えになったのです。神様は教会のうちに彼らを建物とし、神様の教会は、からだとされ、からだは神様にある子どもとして家族とされるのです。

私は教会の一部であり、からだの一部であり、家族の一員であり、私はその一部であることに喜びを覚えています。私は多様性を、違いを受け入れる寛大さを、神様にある信仰を、神様の愛を、そして違いを超えて私たちが互いにつなぎひとつとなす愛に喜びを覚えています。

私たちの教会は私たちの町を反映すべきなのです。世界の人々が私たちの教会を訪れた時、彼らと似通った兄弟姉妹を見つけることでしょう。

神様は、私たち全てを等しく受け入れて下さったのです。そして神様の愛は私たち一人ひとりに注がれているのです。

神様は私たち全てを愛して下さいます。そして神様は私たちにもお互いを愛することを望まれているのです。

讃美歌 第二編 167

祈り 御在天の父なる神様。あなたの教会であり、あなたの民であり、あなたの子どもでもありますように私たちをお導き下さい。私たちがお互いを愛しあなたを愛することができますように。私たちが違いを超えてひとつとしてあなたに認められますように。

イエス様の御名によってお祈りいたします。アーメン。

ビリー・W・シルヴィー

カリフォルニア州 ロサンゼルス